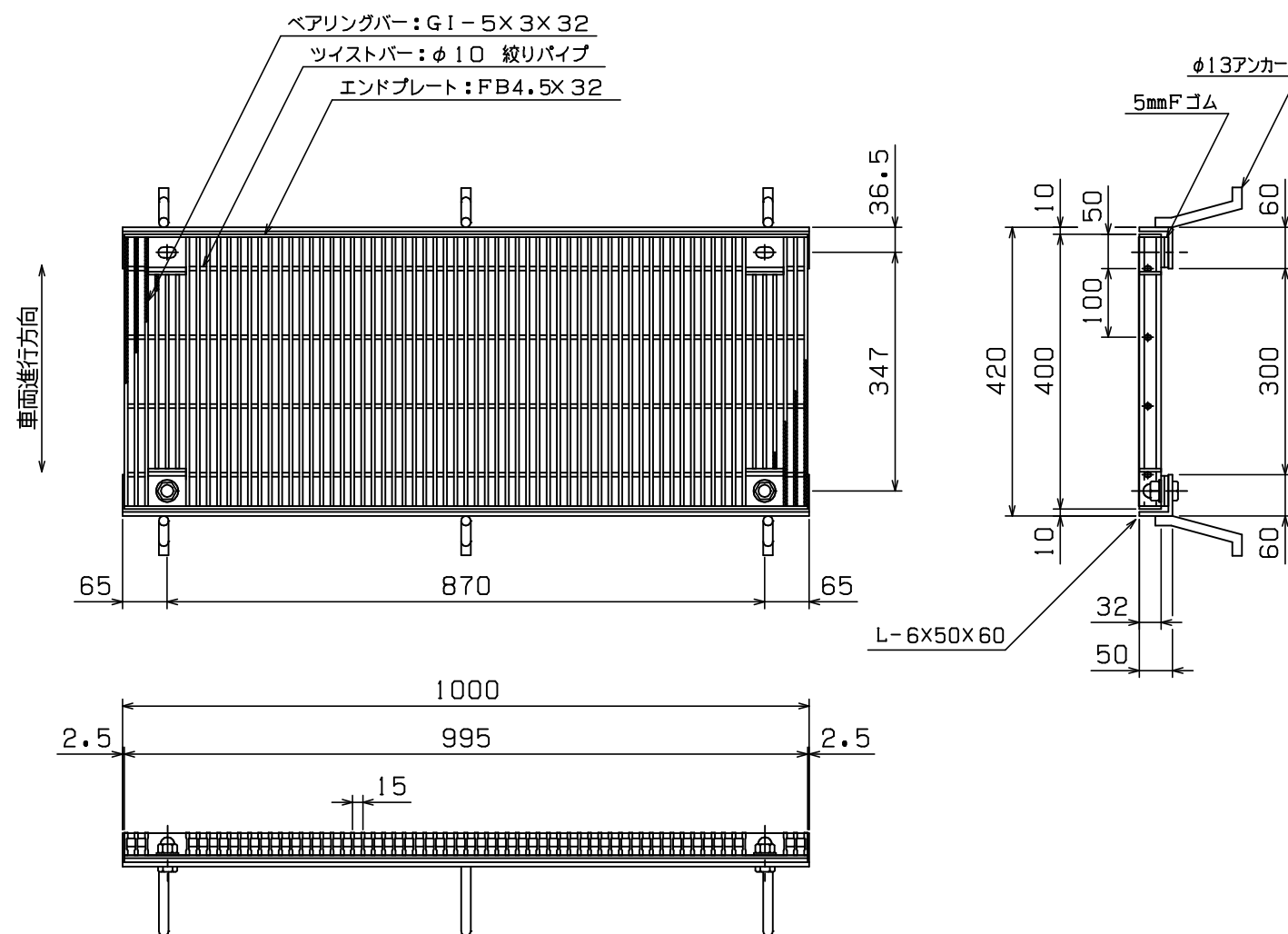


本体重量: 31.3Kg
受枠重量: 11.0Kg

<表面処理>

本体: 溶融亜鉛メッキ
受枠: 黒ペイント塗装

担当	製図	検図	尺度	作図日	工事名
	戸田	伊藤	1/10	年 月 日	
タイヘイグレーチング					図面番号 GTJPH32-3B T-14
石田鉄工株式会社					図面名称 GTJPH 400×995×32 ゴム付 Lアングル Bタイプ

(P=15)

◇ 荷 重 計 算 ◇

設計条件

荷重基準: 鋼道路橋等設計示方書による
荷 重: T-14 (後輪一輪荷重: 5600Kg)
載荷寸法: 500mm×200mm (等分布負載)
許容応力: $\sigma_b = 18.2 \text{ Kg/mm}^2$ (SS400使用)
衝撃係数: $i = 0.4$
スパン: $L = 350 \text{ mm}$

W: 主部材が支える最大後輪一輪荷重(Kg)
N: 荷重を受ける主部材本数
(Z): 主部材断面係数(mm^3)
S: 溝幅方向載荷寸法(mm)

荷 重 計 算

「横断溝」(溝幅>載荷寸法Sの場合)

$$W = \frac{8 \sigma_b Z}{2L - S} = \frac{8 \times 18.2 \times Z}{2 \times 350 - 200} = 0.291 \times Z$$

$$Z = N(Z) = 34 \times 0.794 \times 10^3 = 27.00 \times 10^3$$

$$\therefore W = 0.291 \times 27.00 \times 10^3 = 7.86 \times 10^3 \text{ (Kg)}$$

$$\begin{aligned} T &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times W \\ &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 7.86 \times 10^3 \\ &= 19.6 > 14 \end{aligned}$$

衝撃係数考慮の場合

$$\begin{aligned} T &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times \frac{1}{1+i} \times W \\ &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 0.714 \times 7.86 \times 10^3 \\ &= 14.0 \geq 14 \end{aligned}$$

以上より T-14 となる